

## 重点戦略 ④ 環境にやさしい農業・農村づくり戦略

生産性や品質の向上、低コスト化の追求により、化学肥料や化学合成農薬に過度に依存した農業生産活動が増加したことにより、近年、環境への負荷が懸念されています。

このため、これからの農業は、将来にわたり安定的な農業生産が継続できるよう、農業の特性を活かした適切な農業生産活動を行うことにより、大気や水質の浄化機能など本来農業の持つ環境保全能力を増進させた自然と共生する農業を推進するとともに、消費者が求める安全・安心な農産物づくりを支援します。

### 今後5カ年で取り組む具体策

#### 環境にやさしい農業の推進

- たい肥などの有機質資材を利用した土づくりや、化学肥料・化学合成農薬を低減する取組を推進します。
- 持続性の高い農業技術を導入するため、地域ぐるみによるエコファーマーの認定取得を支援します。
- 環境にやさしい農産物表示認証制度や特別栽培農産物等の生産拡大とブランド化に取り組めます。
- 農産物の安全性を確保するため、農業者自らが、農作業等における点検項目を定め、記録し、チェックしながら改善する農業生産工程管理手法（GAP）の普及を推進します。
- 総合的病害虫・雑草管理（IPM）の普及定着を推進し、病害虫の発生状況等に応じた適切な防除を推進します。
- 「有機農業の推進に関する法律」の制定を踏まえ、有機農業の支援体制を整備します。



#### 資源循環型農業の推進

- 稲わら、麦わら、緑肥作物等の鋤き込み等、有機性資源の利用による土づくりを推進します。
- きこの廃培地、食品残さなど有機物の地域循環システムの構築を支援します。
- 農業系バイオマスのコンポスト化、飼料化、エネルギー化など、地域の特性を活かしたバイオマス利活用の取組を進めます。
- 県内におけるバイオマス資源として利用できる作物の可能性を探ります。



菜の花からのバイオディーゼル燃料の取組

#### 環境に配慮した農村づくりの推進

- ホテル等の水生昆虫や魚類の生育環境に配慮した水路づくり、自然石護岸による整備など、生態系や景観に配慮した生産基盤整備を進めます。
- 農業用水やため池が持つ多面的な役割を適切に維持・発揮するため、農業者と地域住民が協働して維持・保全活動に取り組めます。
- 農業用水を活用した小水力発電の実証実験などを行い、野生鳥獣害防止対策として電気柵の電源とするなど具体的な活用方法を検討し、普及に向けた取組を進めます。



水と親しめる自然石水路